

<h1>福祉心理学特別研究</h1>	担当教員	単位数	配当学年
	半澤 利一	6単位	2年
		履修方法(授業形態)	
		SR	

■事前に受講してほしい講義等

心理学的な理論と支援（司法・犯罪心理学）・心理学的な支援と応用演習（司法・犯罪心理学）

■授業のテーマ

福祉心理学研究の基礎と実践

■授業の目的

福祉心理学のうち、特に司法・犯罪心理学やその関連領域における課題を見つけ出し、研究目的に合った手法を使って研究し、論文を作成する。

■授業の到達目標

- ・司法・犯罪心理学や家族心理学において実学的な視点から研究課題を見つけることができる
- ・研究目的に沿った研究方法を選び、計画を立てることができる
- ・研究目的に沿った量的あるいは質的データを収集することができる
- ・まとまったデータを分析し、考察することができる
- ・研究で得られた知見を心理的支援の場面に応用することができる

■授業の概要

これまでに積み重ねてきたさまざまな心理学的な知見や方法を踏まえ、新たに見出したテーマや自分で確認したい課題についてよく考え、研究の目的や構成変数を絞り込むことで、研究というものがどういうものを深く理解することができる。その上でさまざまな文献を調べて研究計画を立てて仮説を設定し、調査を行って結果の分析と考察を行う。これら一連の活動を通して自分の思考がより深まり、人々に何らかの知見をもたらす研究成果を作り上げていく。

■授業の方法

個別指導

■授業時間外学修（予習・復習等）

心理学研究法の特徴、心理統計学について、テキストや参考文献を読んで修得しておくこと。その学修を踏まえ、明瞭な研究計画を立てること。

■評価の方法・基準（評価割合）

本研究への取り組み（20%）、3回のレジュメ（20%）、論文内容（40%）、最終プレゼンテーション（20%）

■履修上の注意事項

3回以上の面接指導と2回以上の通信指導受けること。3回のレジュメ（構想レジュメ・第1回中間レジュメ・第2回中間レジュメ）提出が必須。

■論文作成のポイント（テーマと内容等）

	ポイント
1	テーマ：テーマの設定 内容：関心のあるテーマを見つける。
2	テーマ：研究文献の収集 内容：テーマに関する文献を図書館等で行う。
3	テーマ：研究文献の収集 内容：テーマに関する文献をインターネットなどで調べる。
4	テーマ：収集したものの整理 内容：収集した文献をカードにまとめ、いつでもすぐに見られるようにする。
5	テーマ：まだ不足している文献を集める 内容：カードに整理した結果、さらに必要な文献が何かを考え探す。
6	テーマ：研究目的の検討 内容：なんのための研究かを明らかにする。
7	テーマ：定義を考える 内容：尺度の定義を考え、研究に合致しているか検討する。
8	テーマ：質問項目を作る 内容：予備調査を行うに当たっての各尺度の質問項目を作る。
9	テーマ：定義と質問項目の突き合わせ 内容：尺度の定義と作成した質問項目の整合性を検討する。
10	テーマ：予備調査を行うための質問紙の作成 内容：質問紙を作成し、予備調査が可能かどうかの検討を行う。
11	テーマ：予備調査を行う 内容：調査を行う。
12	テーマ：予備調査のデータを入力 内容：予備調査で集めたデータを間違いないように SPSS に入力する。
13	テーマ：予備調査のデータ分析 内容：SPSS に入力したデータを、統計法により因子分析、信頼性、性差などから分析する。
14	テーマ：予備調査で得られた結果の整理 内容：分析したものを整理する。
15	テーマ：検討 内容：作成した尺度で本調査を行うことができるか検討する。
16	テーマ：仮説の検討 内容：予備調査の分析より仮説の検討を行う。
17	テーマ：本調査に向けて 内容：本調査に向けて仮説の立て直しを行う。
18	テーマ：本調査に向けての質問紙の作成 内容：予備調査の結果より、本調査にふさわしい質問紙を作成する。
19	テーマ：本調査を行う 内容：対象者を探し、調査が行えるよう準備する。
20	テーマ：本調査の実施 内容：本調査を行いデータを収集する。
21	テーマ：本調査のデータ入力 内容：SPSS を使用して、本調査で得られたデータを正確に入力する。
22	テーマ：データの分析 内容：統計的処理を行い、因子分析、因子の命名、信頼係数、性差、分散分析による仮説の検証を行う。
23	テーマ：結果の整理 内容：分析結果の整理を行う。

	ポイント
24	テーマ：仮説の検証 内容：分析結果から仮説の検証を行う。
25	テーマ：修論の執筆 内容：先行研究と尺度の関係についてまとめる。
26	テーマ：修論の執筆 内容：尺度の定義、研究目的、仮説についてまとめる。
27	テーマ：修論の執筆 内容：研究方法についてのまとめをする。
28	テーマ：修論の執筆 内容：研究結果についてのまとめをする。
29	テーマ：修論の執筆 内容：考察についてのまとめをする。
30	テーマ：修論の執筆 内容：図表、引用文献要約等をまとめ修論を完成させる。

■教科書・テキスト

研究テーマや研究計画、進行状況を見ながら適宜紹介する。

■参考書・参考資料・参考 URL 等

松井豊著 2010 『改訂新版 心理学論文の書き方—卒業論文や修士論文を書くために』河出書房新社

桐生正幸著 2012 『基礎から学ぶ 犯罪心理学研究法』福村出版